



# 雨と仲良し アイデアコンペ

あめ

雨は友だち

雨と遊んでごまかせんか

### 一般部門

- ◎ 雨を活かした実現性・実用性のある技術  
最優秀技術賞 賞品5万円相当(1点)
- ◎ 雨を活かす斬新なアイデア  
優秀賞 賞品1万円相当(1点)  
※小金井市内の在住者・在勤者・在学者。

### 小学生部門

- ◎ 雨に親しめる個性ある傘をデザイン  
審査員特別賞 賞品3千円相当(2点)  
※小金井市内の在学・在住の小学生。

発表：平成20年11月15日 午後1時45分～ 国立大学法人 東京学芸大学芸術館ホール

**募集期間** 平成20年9月1日～平成20年9月30日  
(午後5時必着)

**審査基準** 雨と仲良し・アイデアコンペ実施要領による

**募集場所** 平成20年9月30日 午後5時まで第二庁舎4F環境政策課、又は郵送等。ただし市立小学校での募集箱のある場合は投函して下さい。

**問合先** 小金井市環境部環境政策課 TEL：042-387-9817 メールアドレス：so40199@koganei-shi.jp

雨と仲よし・アイデアコンペ作品応募状況

No.	出品学校名	応募数
小学生部門	東京学芸大学附属小金井小学校	513
	小金井市立小金井第一小学校	
	小金井市立小金井第二小学校	
	小金井市立小金井第三小学校	
	小金井市立小金井第四小学校	
	小金井市立前原小学校	
	小金井市立東小学校	
	小金井市立小金井本町小学校	
	小金井市立小金井緑小学校	
	小金井市立小金井南小学校	
	一般部門	6
	総 計	519

第一次審査	小学生部門	52
	一般部門	6

最終審査	小学生部門	10
	一般部門	6

褒賞結果	最優秀技術賞	該当なし
	優秀賞(1点) 小林 潤 さん	(学)法政大学在学
	審査委員特別賞(2点) 遠藤 萌 さん	小金井第一小4年
	内山 加菜美 さん	小金井第二小6年

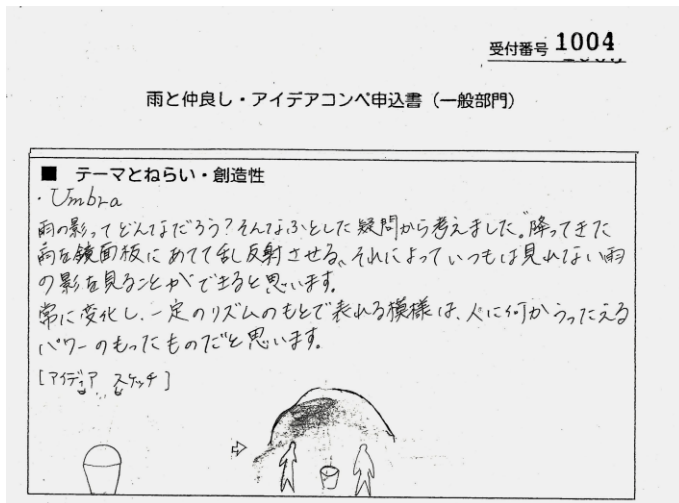
最優秀技術賞（一般部門） 雨を活かした実現性・実用性のある技術

該当ありませんでした。

優秀賞（一般部門） 雨を活かす斬新なアイデア



優秀賞 小林 潤さんのイメージパネルと模型



優秀賞表彰式

審査員特別賞（小学生部門）

雨に親しめる個性ある傘をデザイン



H20. 11. 15 東京学芸大学芸術館ホール



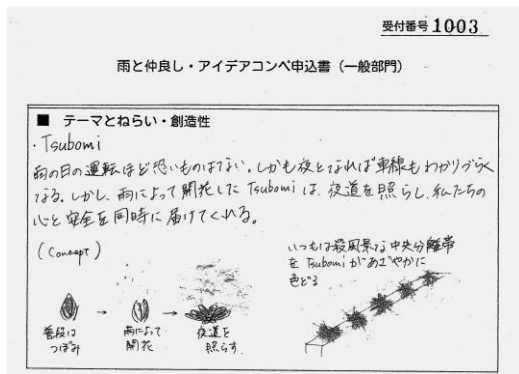
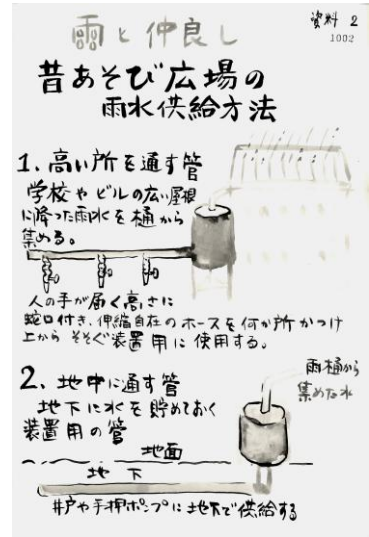
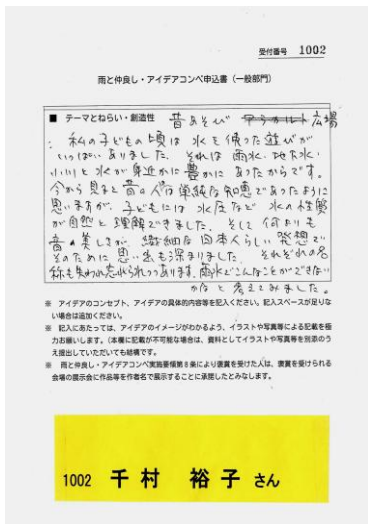
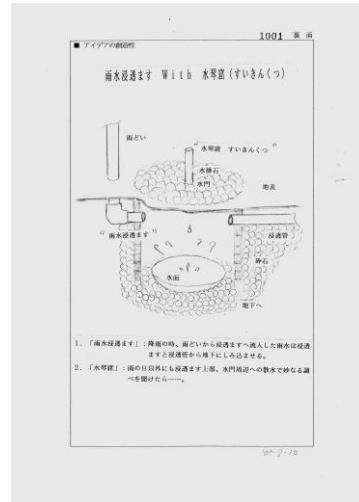
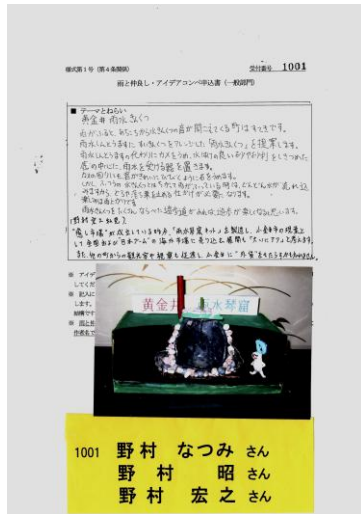
H20. 11. 15 東京学芸大学芸術館ホール



H20. 11. 15~16 東京学芸大学芸術館 環境フォーラム会場にて



一般部門最終審査作品



様式第1号 (第4巻別添) 提出番号 1005  
雨と仲良し・アイデアコンペ申込書 (一般部門)

■テーマとねらい  
1. 高コストを削減  
『バレット特大作戦』  
～雨水自動灌水システム設置プロジェクト～  
市民や地域の企業、商店街とともに、雨水に頼り、これを生かす『雨水自動灌水システム』を開発し、商店街やマンションなど、様々な場所にこれを設置することによって小さな地域経済のサイクルを回す。  
【雨水自動灌水システムのイメージ】

**雨水自動灌水システム**



設置がある場合  
設置がない場合

日々水がいらず  
枯れかけやすい高層階水  
水道より雨水の方がよく育つ

1005 土肥 英生 さん

(2) 商店街と連携した『雨水自動灌水システム』づくり

■高層階階層にも重ねたプランターづくり  
・駅周辺では高層階階層が多いことから、高層階階層にも重ね、小金井市中央高層階階層利用を促し、台所のついた雨水自動灌水システムを作り、設置を行った。

■ベンチを兼ねたプランターづくり  
・また、遊んで休めることができるよう、ベンチを設置、商店街の活性化を高める仕掛けとしての期間を検討している。

写真 武蔵小金井駅前商店街に設置した雨水自動灌水システム



今後、小金井市そして多摩地域の特性に応じた、『雨水自動灌水システム』づくりを通じて、雨水に親しまちづくりを進めていく予定です。

毎時新聞 掲載

2. アイディアの創造性


(1) 創業者一杯の『雨水自動灌水システム』の開発

■最適な雨水の貯留  
・雨水がセラミック材を通して、雨水濾過、セラミック材には空間があるため、微生物による浄化機能も発揮され、貯留される雨水は清浄なまま保たれる。

■覆くれない不透水層  
・セラミック材は表面に貯めた雨水と植物の根の上の表面に置かれ、毛細管現象による底水層水が行われる。空中から水遣りを行うとその3割は蒸発するが、底水層水方式では緑化に100%水を生かすことができる。  
・また、このセラミック材の空間によって、毛根が表面に触れることができ、植えられた植物は根が乾く心配がない。

■開放性を確保して活用  
・低コスト型にすることで、開放性を確保して活用。最終的には上に置くことも想定している。このため、東京都において最終的な目標とする者グループと協力し、開放性の確保、本システムを製作することを企画している。

■地域経済を潤すソフトな仕掛け  
・社会実装では、中央郵便所棟大規模と称して、高層の市民団体や企業に設置したプランターの緑化活動を担っていた。地域のNPOや緑化に熱心な若い市民、企業と連携し、プランターと種を同時に提供し、消費者がいないながらも生産者のあり方に触れることのできるソフトなまちづくりの仕掛けと運動させる。

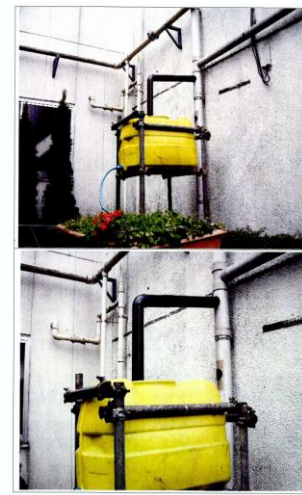


受付番号 1006  
雨と仲良し・アイデアコンペ申込書 (一般部門)

■テーマとねらい・創造性  
小金井第二中学校で雨水利用を手作りできないかと考案した。予算をかけずにある物で工夫することを前提に考えた。学校の倉庫に眠っていた貯水タンクがあったため、そのタンクを足場パイプで土台を組み、なるべく高い位置に固定することで、雨水を利用しやすくした。雨水は学校の屋上からの雨どいから取った。貯水タンクの下部に市販の20ℓタンクにつけるコックを購入し取り付け、ホースから穴を開けた塩ビパイプを伝わってプランタに灌水できるようにした。現在、プランタに植わっているのは「サクラ草」の苗。春先に咲き終わった「サクラ草」の種が落ち、その種から自然に発芽したもの。夏場に水を枯らしてしまうことがあったので注意が必要。夏場の灌水は手間がかかるため、いかに手間を省くか考え、プランタを階段状に3段に置き、プランタの下部の穴から出た水が下のプランタに入るように置いた。そろそろ植え替えに時期なので、株分けして植えていく。来年度の卒業式・入学式の頃には「サクラ草」が満開になり、卒業生・入学生を祝ってくれる。



1006



1006

1006 島崎 孝明さん

小学生部門最終審査作品

